

費目	主 な 事 業 内 容					
06款 農林費 01項 農業費 01目 農業委員会費 9,520,876 円	(単位 円)					
	決算額	特 定 財 源			一 般 財 源	
	国・県支出金	市 債	そ の 他			
	9,520,876	460,000		381,800	8,679,076	
	○農地法関係処理状況 (単位 件、㎡)					
	区 分	申 請 件 数	関 係 面 積			前年度面積
			田	畑	計	
	農地法第3条	22	20,663	37,646	58,309	66,840
	農地法第4条 (転 用)	27	7,420	4,314	11,734	15,697
	市街化区域	20	6,299	3,615	9,914	13,602
	調 整 区 域	7	1,121	699	1,820	2,095
	農地法第5条 (転 用)	62	25,444	13,608	39,052	39,333
	市街化区域	38	9,035	8,298	17,333	15,353
	調 整 区 域	24	16,409	5,310	21,719	23,980
	農地法第20条 (解 約)	4	7,915	0	7,915	4,203
02目 農業総務費 102,307,848 円	(単位 円)					
	決算額	特 定 財 源			一 般 財 源	
	国・県支出金	市 債	そ の 他			
	102,307,848	1,845,000			100,462,848	
	○地域農政地産地消推進事業 1,540,000 円 地域営農団体や部農会への活動支援を行い特色ある地域農業の確立と地域の一体化、地産地消を推進した。 31部農会 6地域営農団体					
	○米消費拡大推進事業 225,000 円 米の消費が食生活の多様化により減退していくなか、消費者に対し米の重要性を啓発し、普及活動などを通して米消費拡大事業を推進した。 ・米消費拡大推進連絡協議会総会 平成19年 6月27日 出席者 20人 ・市民すこやかふれあいまつり 平成19年11月11日 来場者 520人 (お米ゲームほか) ・農業祭(餅まき、餅の無料配布) 平成19年12月 1日 ・みしま生活展(お米ゲームほか) 平成19年12月16日 来場者 400人 ・親子ご飯料理教室 平成20年 2月23日 参加者 25組 59人 ・男性初心者向けごはん料理教室 平成20年 2月24日 参加者 10人					
03目 農業振興費 6,991,034 円	(単位 円)					
	決算額	特 定 財 源			一 般 財 源	
	国・県支出金	市 債	そ の 他			
	6,991,034	932,879			6,058,155	
	○有害鳥獣捕獲委託事業 委託料 550,000円 捕獲鳥獣 カラス 3件129羽 イノシ 6件18頭 シカ・ハクビシ各 1件0頭					
	○認定農業者等経営改善活動業務委託事業 認定農業者に必要な経営改善支援を行い効率的かつ安定的な農業経営体の育成を図った。 委託料 500,000円 再認定農業者 15経営体 新規認定農業者 10経営体 計25経営体 (合計114経営体)					

費目	主 な 事 業 内 容
	<p>○国・県支出金を伴う事業費補助金 2,023,381 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業施設化資金利子補給補助金 15件 利子補給額 815,615円 ・農業経営基盤強化資金利子助成費補助金11件 利子補給額 1,207,766円 経営規模の拡大及び施設化等経営の改善を図るために融資を受けた農業者に対し、利子補給を行った。 <p>○市単独事業費補助金 3,751,769 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂地区農産物特産化推進連絡会補助金 800,000 円 坂地区を含む箱根西麓で行われる農産物イベントを通じ、箱根西麓農産物のイメージアップを図り、農産物のブランド化、地産地消を推進した。 親子ふれあい竹の子祭り 平成19年 4月21日 市山グラウンド 来場者 約450人 三島馬鈴薯祭り 平成19年 7月 7日 南二日町広場 来場者 約2,500人 産地ふれあい親子収穫体験ツアー（エコにんじん） 平成19年11月 7日 笹原新田 参加者 約150人 産地ふれあい親子収穫体験ツアー（レタス） 平成19年11月21日 三ツ谷新田 参加者 約90人 箱根だいこん祭り 平成19年12月 9日 市立坂公民館 来場者 約3,500人 産地ふれあい親子収穫体験ツアー（はくさい） 平成20年 1月10日 三ツ谷新田ほか 来場者 約150人 パンフレット作製 16,000枚 ほか ・環境保全型農業推進事業費補助金 1,284,974 円 環境保全型農業を推進するため、地力増強のための良質有機物の投入等による土壌改良や病害虫回避を図る資材等を利用した農家に環境保全型農業推進事業費補助金を交付した。 利用者 121人 33品目 ・畑作圃場土壌保全事業費補助金 371,795 円 畑作地帯の圃場は、大型農業機械の導入により農作業の効率化は図れたものの、不耕起層の発生により浸透性が低下し、表土の流失が起きやすい状況にあるため、圃場の天地返しにより土層の改善を図った。 利用件数 14件（15ヶ所） 25,003㎡ ・農業用使用済プラスチック組織的回収推進事業補助金 225,000 円 マニフェスト制度に基づき市内農業地域における廃プラスチック等を循環型処理可能業者へ搬入処理した。 事業期間 平成19年11月 10日～平成19年12月20日 処理量 33,700kg ・営農ヘルパー育成事業費補助金 270,000 円 農業就業人口の減少により、効率的かつ安定的な農業経営を構築するため、農繁期に支援できる人材を農家へ紹介する「農作業パート無料職業紹介所」を開設し、農家の過労働の軽減を図った。 求人者延べ数 15戸 31人 求職者延べ数 66人 紹介件数 10戸 22人 成立件数 17人 ・ポジティブリスト制度運用対策事業費補助金 250,000 円 農作物の生産・販売を行っている農業者が、作付けする作物ごとに使用可能な農薬等を選択するにあたり、簡易に適正な農薬を選択できるようにするため農薬の手引きを作成し配布した。 作成配布数 3,000冊

費 目	主 な 事 業 内 容																															
	<ul style="list-style-type: none"> ・食健シンポジウム補助金 250,000 円 地産地消を目的に生産者から消費者までを一堂に集め、交流し意識向上を図るイベントを行った。 平成20年1月15日 ブケ東海三島 参加者 272人 ・食育推進事業費補助金 300,000 円 小児期における健全な食習慣を確立させるための農業体験事業を通じ食農教育の推進を図った。 甘藷ツル挿し・収穫体験 坂・佐野小児童、伊豆佐野保育園児ほか 野菜等の定植・管理・収穫体験 若葉保育園児ほか ○災害農業施設復旧・営農運転資金融資利子補給補助金 (農業用施設復旧資金含む。) ・平成16年度災害農業施設復旧・営農運転資金融資利子補給補助金 平成16年10月9日の台風22号、同年12月5日の強風による災害により被災した農業用施設の復旧等の促進を図るため、被災者に対し緊急災害対策融資を行う三島函南農業協同組合に利子の一部を補助して農家の負担を軽減し、農業振興を図った。 平成16年10月 9日 台風22号 農業施設復旧資金 1件 利子補給額 2,996円 営農運転資金 1件 利子補給額 2,476円 平成16年12月 5日 強風 農業施設復旧資金 3件 利子補給額 27,359円 営農運転資金 1件 利子補給額 534円 ・平成19年度災害農業施設復旧・営農運転資金融資利子補給補助金 平成19年9月6日の台風9号により被災した農業者の経営の維持及び生活の安定を図るため、被災者に対し緊急災害対策融資を行う三島函南農業協同組合に利子の一部を補助して農家の負担を軽減し、農業振興を図った。 災害対策資金 1件 利子補給額 936円 																															
<p>04目 山田川環境整備事業費</p> <p style="text-align: right;">73,098,160 円</p>	<p style="text-align: right;">(単位 円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">決 算 額</th> <th colspan="3">特 定 財 源</th> <th rowspan="2">一 般 財 源</th> </tr> <tr> <th>国・県支出金</th> <th>市 債</th> <th>そ の 他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">73,098,160</td> <td style="text-align: center;">32,952,000</td> <td style="text-align: center;">31,900,000</td> <td style="text-align: center;">7,200,000</td> <td style="text-align: center;">1,046,160</td> </tr> </tbody> </table> <p>○山田川環境整備事業 57,993,660 円 山田川上流域に広がる遊休農地を環境に配慮しながら再生・復元を進めていくため、地域住民・ボランティア・市民有志・発案者等とともにワークショップを開催し、山田川グリーンツーリズム推進体制を策定した。併せて、用地買収と園路改良、農園整備工事及び水道管布設工事を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料 2,359,350円 (単位 円) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事 業 名</th> <th>事業費</th> <th>事 業 概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分筆等登記業務委託料</td> <td style="text-align: center;">850,500</td> <td>分筆登記業務</td> </tr> <tr> <td>山田川地域連携システム整備委託料</td> <td style="text-align: center;">1,508,850</td> <td>ワークショップ開催</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・工事請負費 50,421,000円 (単位 円) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事 業 名</th> <th>事業費</th> <th>事 業 概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山田川環境整備工事</td> <td style="text-align: center;">41,002,500</td> <td>園路改良工事・農園整備</td> </tr> <tr> <td>配水本管布設工事</td> <td style="text-align: center;">9,418,500</td> <td>水道管布設</td> </tr> </tbody> </table>	決 算 額	特 定 財 源			一 般 財 源	国・県支出金	市 債	そ の 他	73,098,160	32,952,000	31,900,000	7,200,000	1,046,160	事 業 名	事業費	事 業 概 要	分筆等登記業務委託料	850,500	分筆登記業務	山田川地域連携システム整備委託料	1,508,850	ワークショップ開催	事 業 名	事業費	事 業 概 要	山田川環境整備工事	41,002,500	園路改良工事・農園整備	配水本管布設工事	9,418,500	水道管布設
決 算 額	特 定 財 源			一 般 財 源																												
	国・県支出金	市 債	そ の 他																													
73,098,160	32,952,000	31,900,000	7,200,000	1,046,160																												
事 業 名	事業費	事 業 概 要																														
分筆等登記業務委託料	850,500	分筆登記業務																														
山田川地域連携システム整備委託料	1,508,850	ワークショップ開催																														
事 業 名	事業費	事 業 概 要																														
山田川環境整備工事	41,002,500	園路改良工事・農園整備																														
配水本管布設工事	9,418,500	水道管布設																														

費目	主 な 事 業 内 容																			
	・ 公有財産購入費 4,822,076円 (単位 円)																			
	事業名	事業費	事業概要																	
	用地買収費	4,822,076	園路改良拡幅部分 790.87㎡																	
	○平成18年度繰越明許費																			
	(単位 円)																			
	事業名	事業費	事業概要																	
	山田川環境整備に伴う園路改良工事	14,400,000	U字側溝・皿型側溝・舗装工																	
05目 農村地域農政総合推進事業費	(単位 円)																			
586,708 円	決算額	特 定 財 源		一 般 財 源																
	586,708	国・県支出金	市 債	そ の 他																
○農振計画変更と農地流動化推進事業 586,708 円																				
・ 農用地利用集積計画事業 農地を貸しても離作料を心配しないで貸せる事業で、この事業により遊休農地の有効利用を図り、担い手に農地の集積を行い規模拡大等により農業経営の安定を図った。 貸し手 13人 借り手 7人 面積 2.9ha																				
06目 畜産費	(単位 円)																			
5,008,503 円	決算額	特 定 財 源		一 般 財 源																
	5,008,503	国・県支出金	市 債	そ の 他																
○市単独事業費補助金 4,513,722 円																				
・ 家畜予防注射補助金 712,692 円 家畜伝染病予防法に基づいて予防注射及び検査を実施した畜産農家に対し補助をした。 事業実施状況																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予 防 注 射 名</th> <th>実 施 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>牛のイバラキ病予防注射</td> <td>265 頭</td> </tr> <tr> <td>牛のIBR予防注射</td> <td>214 頭</td> </tr> <tr> <td>牛のアカバネ病予防注射</td> <td>269 頭</td> </tr> <tr> <td>豚日本脳炎・パルボウイルス予防注射</td> <td>550 頭</td> </tr> <tr> <td>豚日本脳炎予防注射</td> <td>420 頭</td> </tr> <tr> <td>鶏ニューカッスル病予防注射</td> <td>126,050 羽</td> </tr> <tr> <td>鶏痘等予防注射等</td> <td>125,050 羽</td> </tr> </tbody> </table>					予 防 注 射 名	実 施 数	牛のイバラキ病予防注射	265 頭	牛のIBR予防注射	214 頭	牛のアカバネ病予防注射	269 頭	豚日本脳炎・パルボウイルス予防注射	550 頭	豚日本脳炎予防注射	420 頭	鶏ニューカッスル病予防注射	126,050 羽	鶏痘等予防注射等	125,050 羽
予 防 注 射 名	実 施 数																			
牛のイバラキ病予防注射	265 頭																			
牛のIBR予防注射	214 頭																			
牛のアカバネ病予防注射	269 頭																			
豚日本脳炎・パルボウイルス予防注射	550 頭																			
豚日本脳炎予防注射	420 頭																			
鶏ニューカッスル病予防注射	126,050 羽																			
鶏痘等予防注射等	125,050 羽																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>検 査 名</th> <th>実 施 戸 数</th> <th>実 施 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ミツバチ腐蛆病検査</td> <td>3</td> <td>20 群</td> </tr> </tbody> </table>					検 査 名	実 施 戸 数	実 施 数	ミツバチ腐蛆病検査	3	20 群										
検 査 名	実 施 戸 数	実 施 数																		
ミツバチ腐蛆病検査	3	20 群																		
・ 死亡獣畜処理対策事業補助金 202,275 円 死亡家畜（牛、豚）の処理経費に対して補助をした。 事業費 576,000円 処理頭数13頭																				
・ 酪農ヘルパー事業補助金 146,000 円 酪農農家に余暇をつくるため行われるヘルパー事業に対し補助をした。																				

費目	主 な 事 業 内 容													
	<p>事業費 6,280,018円 利用戸数 13戸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家畜舎一斉消毒薬剤購入事業補助金 659,432 円 畜舎の衛生環境を保つため、消毒薬剤購入経費に対し補助をした。 事業費 1,978,296円 薬剤 23種 ・ 受精卵移植事業補助金 219,000 円 最新技術を導入した牛群改良により畜産経営の体質強化を図るため補助をした。 事業費 774,419円 採卵数 32卵 移植頭数 32頭 ・ 家畜改良事業補助金 2,200,000 円 消費動向が量から質へと推移するなか畜産物の品質向上を図るための優良家畜導入に対し補助をした。 事業費 9,711,929円 導入頭数 乳牛 11頭 繁殖和牛 3頭 種豚 5頭 ・ 第60回三島市畜産共進会事業補助金 100,000 円 事業費 514,487円 出品点数 乳牛 19点 肉牛 8点 肉牛枝肉 13点 トントンレース子豚5点、共進会集合審査 トントンレース（JA安久グラウンド） 肉牛枝肉共進会 集合審査（東京食肉市場） 畜産祭り 平成19年12月1日 安久グラウンド ・ 三島市牛海綿状脳症対策資金利子補給補助金 牛海綿状脳症にかかった牛が国内で発生したことにより、経済的に影響を受けた畜産等を営む農業者の経営の維持及び生活の安定を図るため、静岡県農協災害対策資金及びBSE災害緊急対策資金の貸付けを受けた畜産農家に貸付資金の利子補給をした。 BSE災害緊急対策資金融資利子補給補助金（年1.5%） 2件 利子補給額 144,656円 静岡県農協災害対策資金（緊急生活資金）利子補給補助金（年0.8%） 2件 利子補給額 9,667円 ・ 三島市畜産連合会補助金 120,000 円 畜産農家間の連携強化及び畜産経営の健全な発展と振興を図るため畜産連合会に対し事業費の一部を補助した。 事業費 278,606円 													
<p>02項 林業費 01目 林業総務費 27,731,933 円</p>	<p style="text-align: right;">(単位 円)</p> <table border="1" data-bbox="512 1682 1362 1809"> <thead> <tr> <th rowspan="2">決 算 額</th> <th colspan="3">特 定 財 源</th> <th rowspan="2">一 般 財 源</th> </tr> <tr> <th>国・県支出金</th> <th>市 債</th> <th>そ の 他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27,731,933</td> <td>4,041,000</td> <td>3,938,000</td> <td>10,498,025</td> <td>9,254,908</td> </tr> </tbody> </table> <p>○放置竹林対策事業 312,734 円 さまざまな影響が懸念される放置竹林の整備のため、竹破碎機の講習会の開催や貸し出しにより市民の意識向上を図った。併せて整備の方針や竹材の有効利用など、総合的な対策の検討を図った。 講習会、竹林ボランティア活動 5回</p>	決 算 額	特 定 財 源			一 般 財 源	国・県支出金	市 債	そ の 他	27,731,933	4,041,000	3,938,000	10,498,025	9,254,908
決 算 額	特 定 財 源			一 般 財 源										
	国・県支出金	市 債	そ の 他											
27,731,933	4,041,000	3,938,000	10,498,025	9,254,908										

費目	主 な 事 業 内 容			
	○間伐事業 5,847,114 円 森林の持つ水源涵養機能及び災害防止機能などの公益的機能を高めるため人工林の間伐を実施した。 実施面積 40.00ha 委託料 5,775,000円 ○県単林道事業 11,938,500 円 林道中尾線の路面復旧工事を実施した。 ○林道整備事業 484,575 円 林道3路線の整備をするため原材料を支給した。 補修整備用材料 484,575円 ○林道維持管理事業 1,670,550 円 林道の整備をするため法面、路肩の草刈を実施した。 委託料 1,670,550円 ○国・県建設事業に係る負担金 5,600,000 円 林道諏訪ノ台線建設事業 広域基幹林道北箱根山線の支線として平成7年度から県営事業で開設し平成19年度は151m開設した。 事業費 32,000,000円 市負担金 5,600,000円			
04項 土地改良事業費	(単位 円)			
01目 土地改良事業総務費	(単位 円)			
45,084,139 円	決算額	特 定 財 源		一 般 財 源
		国・県支出金	市 債 そ の 他	
	45,084,139	67,000		45,017,139
	○国・県建設事業に係る負担金 ・県単独農業農村整備調査費負担金 2,000,000 円 (単位 円)			
	区 分	事業費	市負担金	
	松毛川排水機場	3,000,000	750,000	
	元山中地区	1,500,000	750,000	
	中郷温水池	1,000,000	500,000	
02目 市単土地改良事業費	(単位 円)			
29,851,934 円	決算額	特 定 財 源		一 般 財 源
		国・県支出金	市 債 そ の 他	
	29,851,934		29,839,000	12,934
	○ふるさと一般農道整備事業（玉沢地区） 1,239,434 円 県道三ツ谷谷田線と通称「葦山街道」を結ぶアクセス道路としての事業を推進するための業務を実施した。 (単位 円)			
	事業名	事業費	事業概要	
	工事補償	1,239,434	配水管移設工事補償費	
	○農道佐野6号線整備事業 28,612,500 円 佐野見晴台から市立佐野小学校への通学のための道路及び歩道整備を行うもので道路工を実施した。 (単位 円)			
	事業名	事業費	事業概要	
	農道佐野6号線道路改良工事	28,612,500	道路工 延長214m	

費目	主 な 事 業 内 容			
03目 県単土地改良事業費 41,820,000 円	(単位 円)			
	決算額	特 定 財 源		
		国・県支出金	市 債	そ の 他
	41,820,000	13,940,000	27,823,000	57,000
	○県単土地改良事業 41,820,000 円 県の補助を受けて農業施設を改良するもので、未整備・老朽化した農道等を地元の協力を得る中で実施した。			
	(単位 円)			
	事業名	事業費	事業概要	
	玉沢地区農道改良工事	30,754,500	道路工	施工延長 278.5m
	南二日町地区用排水路改良工事	10,804,500	排水工	施工延長 110m
04目 県営土地改良事業費 39,990,573 円	(単位 円)			
	決算額	特 定 財 源		
		国・県支出金	市 債	そ の 他
	39,990,573		32,300,000	7,480,000
	○県営担い手育成基盤整備事業（中郷地区） 128,073 円 優良農地の適正な確保と効率的な農業経営を図るため区画整理により農地の集団化、用水不足、水質の悪化防止のための用排水の分離、基幹農道の事業推進を図った。			
	○国・県建設事業に係る負担金 39,862,500 円 ・県営担い手育成基盤整備事業中郷地区負担金 36,125,000 円 総事業費1,691,070,000円 区画整理24.1ha 幹線農道2,755m 幹線用水路 2,484m 幹線排水路 1,256m 平成19年度は、ほ場整備約6.2ha、ファームポンド及び自動転倒堰の設置を実施した。 事業費 178,500,000円 市負担金 36,125,000円			
	・県営一般農道整備事業川原ヶ谷地区事業費負担金 3,737,500円 総事業費178,500,000円 延長4,734m 幅員7.0m 平成19年度は、農免農道佐野・市山線の舗装改良工事を実施した。 事業費 13,650,000円 市負担金 3,737,500円			
05目 土地改良施設維持管理事業費 60,345,586 円	(単位 円)			
	決算額	特 定 財 源		
		国・県支出金	市 債	そ の 他
	60,345,586		2,100,000	10,944,706
	○農免農道維持管理補修事業 9,229,474 円 農免農道の補修工事、草刈等を実施した。			
	○農業用施設維持管理事業 32,117,613 円 農業用施設の補修工事、維持管理業務を実施した。			
	○松毛川排水機場維持管理事業 16,224,482 円 松毛川排水機場施設の保守点検業務等を実施した。			
	○幸原揚水機場維持管理事業 1,656,517 円 幸原ポンプ場の清掃及び管理業務を実施した。			

費目	主 な 事 業 内 容				
07款 商工費	(単位 円)				
01項 商工費					
02目 商工業振興費					
74,490,182 円					
	決算額	特 定 財 源		一 般 財 源	
		国・県支出金	市 債	そ の 他	
	74,490,182	9,198,000		65,292,182	
	○企業立地推進事業			4,850,959 円	
	<ul style="list-style-type: none"> ・建設部の部内室として企業立地推進室を設置 ・4社の企業が三島市へ進出決定 				
	(単位 円)				
	事業名	事業費	事業概要等		
	新工業団地可能性調査業務委託	4,515,000	新たな工業用地の確保に向け、大規模開発を進める視点、企業が進出を図る場合に求める土地情報の視点などをもって、候補地を選定する基礎資料を作成した。		
	○国・県支出金を伴う事業費補助金（企業立地推進室）				
	(単位 円)				
	補助金名	補助対象企業数	補助金額	事業概要等	
	三島市企業立地事業費補助金	2社	18,345,000	企業等の誘致を促進し、地域の産業の高度化及び経済の活性化を図るため、平成18年度に進出決定した企業に対して補助を行った。（新規雇用従業員に要する経費 1人当たり500,000円以内の額、用地取得に要する経費 用地取得費の1/5以内の額）	
			補助金額内訳 新規雇用従業員 1,500,000 用地取得 16,845,000		
	○国・県支出金を伴う事業費補助金（商工振興課）				
	(単位 円)				
	補助金名	補助対象団体	事業費	補助金額	事業概要等
	都市エリア産学官連携促進事業補助金	(財)しずおか産業創造機構	6,000,000	600,000	富士山麓地域（静岡県・三島市・沼津市・富士市・富士宮市・長泉町）における、研究交流事業（地域負担分）に対し、補助を行った。
	○市単独運営費補助金				
	(単位 円)				
	補助金名	補助対象団体	事業費	補助金額	事業概要等
	静岡県国際経済振興会補助金	(社)静岡県国際経済振興会	174,000,000	193,000	中小企業の国際化を図るため、貿易振興に関する各種事業を実施する(社)静岡県国際経済振興会への運営費補助を行った。
	○市単独事業費補助金				
	(単位 円)				
	補助金名	補助対象団体	事業費	補助金額	事業概要等
	商店街振興育成事業補助金	三島商店街連盟	5,346,940	2,430,000	各商店街振興費（20カ所）、初詣客歓迎イベント費、買物袋作成、通行料調査関係費など商店街連盟が行う各種事業に対し補助を行った。
	商店街イベント振興事業補助金	大通り商店街まつり実行委員会	3,428,444	1,200,000	(5/5) 春の大通り商店街まつり
		広小路笑栄会	1,332,257	400,000	(6/2) リメンバー六反田
		一番町商店振興会	1,466,608	400,000	(6/16~6/17) 一番町ホテルまつり
		本町大中島商店会	1,711,000	400,000	(7/7~7/8) セタ夜市
		芝本町商店振興会	828,164	263,862	(9/17) WaiWai遊広場
		大場商店会	1,268,093	400,000	(8/26) 大場ふれあい広場
		東本町1丁目商店振興会	669,683	236,050	(9/23) 青空市言成さん商店街祭り

費 目	主 な 事 業 内 容				
	(単位 円)				
	補助金名	補助対象団体	事業費	補助金額	事業概要等
	商店街イベント 振興事業補助金	門前町下田街道 まつり実行委員 会	940,500	460,250	(9/23) 門前町下田街道まつり
		大通り商店街ま つり実行委員会	3,221,621	1,200,000	(11/3) 三島大通り宿場まつり
		三島サービス シール協同組合	1,237,671	400,000	(11/24~11/25) 彘びす講大市
		三島大通り商店 街カルチャーイ ベント実行委員 会	800,700	400,000	(4/5~4/24) カルチャー教室作品展
		三島商工会議所	957,323	400,000	(4/2~3/31) せせらぎ一服処活用事業
		三島しゃぎり伝 統文化展実行委 員会	870,497	400,000	(10/11~10/23) 三島しゃぎり伝統文化展
		この祭り、乱れ 咲き実行委員会	168,187	83,548	(5/20) 「この祭り、乱れ咲き4th」
		三島商工会議所	101,835	45,000	(7/21) ムラカミ屋開店イベント
		まちづくり絵画 展実行委員会	806,360	399,450	(11/29~12/4、12/13~12/18) まちづくり絵画展
		第17回手づくり 市実行委員会	523,000	204,500	(3/6~3/11) 手づくり市
	中小企業新事業 活動支援事業補 助金	丸善工業株式 会社	493,742	200,000	共同研究「削岩機用油圧ユニットの 振動・騒音の解析及び騒音抑制手法 の検討」の補助を行った。
		三丸機械工業(株)	123,500	61,750	共同研究「浴槽内攪拌器の開発事 業」の補助を行った。
	空き店舗対策事 業補助金	三島商工会議所	633,729	180,000	平成18年度に誘致した大宮町のリサイク ルショップ「ゆめのこ」に対し、4月~6 月分の家賃の一部の補助を行った。
		本町大中島商店 会	6,803,371	500,000	平成18年度に本町のvia701 2Fに誘 致したイタリアンレストラン「スパ イス」に対し、4~8月分の家賃の一 部の補助を行った。
		三島商工会議所	21,593,156	1,257,000	平成19年度に栄町の空き店舗に生花 店「花時計」を誘致。12ヶ月分の家 賃の一部の補助を行った。
		一番町商店振興 会	44,752,591	1,428,000	平成19年度に一番町の空き店舗に誘 致した創作料理店「Coo(クー)」に 対し、12ヶ月分の家賃の一部の補助 を行った。
		三島商工会議所	42,605,700	2,738,000	平成19年度に一番町の空き店舗に誘 致した和食処「四季酒彩 風土」に 対し、改装費と家賃12ヶ月分の一 部の補助を行った。
		本町大中島商店 会	16,405,117	1,620,000	平成19年度に本町の空き店舗に誘 致した障害者の手づくり品の販売店 「ステップ」(運営主体:リベライ ンダストリア)に対し、家賃12ヶ月 分の一部の補助を行った。
		芝本町商店振興 会	12,846,848	2,457,000	平成19年度に中央町の空き店舗に誘 致した「おおさわ鍼灸院」に対し、 8~3月分の家賃の一部の補助を行 った。
		中央町商店会	16,217,109	2,000,000	平成19年度に中央町の空き店舗に誘 致した「そば処 丸平」に対し、改 装費の一部の補助を行った。
県中小企業団体 中央会補助金	静岡県中小企業 団体中央会	775,150,541	186,000	静岡県中小企業団体中央会が実施す る、中小企業組合や商工組合、連合 会の組織・事業・経営の指導や連絡 調整、健全な発展を図るための事業 に対し補助を行った。	
三島たばこ販売 協同組合補助金	三島たばこ販売 協同組合	742,000	231,000	三島たばこ販売協同組合が行う環境 美化活動、たばこ自販機深夜自主規 制、未成年者喫煙防止キャンペー ン、タスポ普及啓発等の活動に対し 補助を行った。	
商業等活性化事 業補助金	レストラン ビストロ	3,328,500	62,006	景観形成・来街者サービス向上のた め、「大通り商店街まち並みづくり 協定」の趣旨に合致した日除けテ ントの設置費用の一部の補助を行 った。	

費 目	主 な 事 業 内 容				
	(単位 円)				
	補助金名	補助対象団体	事業費	補助金額	事業概要等
	商工会議所補助金	三島商工会議所	82,763,657	7,200,000	市内小規模事業者等の経営安定を図り、地域経済の活性化を推進することを目的に、商工会議所が実施する商工業振興の諸事業に対し補助を行った。
	中小企業相談所補助金	三島商工会議所	81,391,712	10,000,000	中小企業・小規模事業者等への各種支援として、経営指導員の指導(巡回指導1,570件、窓口・通信・電話等535件)、なんでも相談会年(5回開催)などの事業に対し補助を行った。
	SOHO支援事業補助金	静岡県東部地区SOHO推進協議会	13,377,338	9,000,000	静岡県東部地区SOHO推進協議会が実施するSOHO施設等管理運営事業及びSOHO関係推進事業(講演会、交流会等)に対し補助を行った。
	○その他各種補助金				
	(単位 円)				
	補助金名	補助対象団体	事業費	補助金額	事業概要等
	創業者開業・経営支援事業補助金	三島商工会議所	2,729,200	250,000	週1回の創業相談にかかる費用の一部の補助を行った。
03目 中心市街地活性化推進費 3,425,762 円	(単位 円)				
	決 算 額	特 定 財 源			一 般 財 源
		国・県支出金	市 債	そ の 他	
	3,425,762	1,150,000			2,275,762
	○国・県支出金を伴う事業費補助金				
	(単位 円)				
	補助金名	補助対象団体	事業費	補助金額	事業概要等
	いきいき商店街づくり事業補助金	三島TMO(商工会議所)	3,726,753	2,300,000	三島TMOが実施する中心市街地の店舗ディスプレイコンテスト事業・個店へ専門家を派遣する個店魅力アップ応援団事業に対し補助を行った。
	○市単独事業費補助金				
	(単位 円)				
	補助金名	補助対象団体	事業費	補助金額	事業概要等
	中心市街地活性化推進事業補助金	三島TMO(商工会議所)	3,948,610	1,000,000	TMOの各部会(推進委員会、企画運営部会、アップ店舗部会、にぎわい創出部会、ヤング部会)が実施した事業(会議回数30回:まちづくりサポート隊、空き店舗対策事業、商店街大学事業、みしまっぐ、大社周辺マップの発行など)、通行量調査、新三島TMOビジョン発表会、及びTMOホール活用イベント(寒の土用の丑日イン三島)等の事業に対し補助を行った。
04目 中小企業融資事業費 114,417,088 円	(単位 円)				
	決 算 額	特 定 財 源			一 般 財 源
		国・県支出金	市 債	そ の 他	
	114,417,088				114,417,088
	○中小企業融資事業 100,831,519 円				
	・ 中小企業団体等近代化資金融資				
	原資貸付金(商工中金) 100,000,000円				
	融資枠 原資貸付金の5倍				

費目	主 な 事 業 内 容																
	<p>・貸付実績 (単位 円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>制 度 名</th> <th>件 数</th> <th>融 資 額</th> <th>平 成 19 年 度 末 融 資 残 高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中 小 企 業 団 体 等 近 代 化 資 金 融 資</td> <td>1</td> <td>5,000,000</td> <td>109,815,000</td> </tr> </tbody> </table>				制 度 名	件 数	融 資 額	平 成 19 年 度 末 融 資 残 高	中 小 企 業 団 体 等 近 代 化 資 金 融 資	1	5,000,000	109,815,000					
制 度 名	件 数	融 資 額	平 成 19 年 度 末 融 資 残 高														
中 小 企 業 団 体 等 近 代 化 資 金 融 資	1	5,000,000	109,815,000														
	<p>○市単独事業費補助金 9,865,569 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市小口資金信用保証料補給補助金 208件 3,605,222円 ・小口資金利子補給補助金 322件 3,390,839円 ・短期経営改善資金利子補給補助金 228件 1,602,911円 ・創業等経営支援特別対策資金利子補給補助金 26件 1,266,597円 																
05目 観光費	(単位 円)																
62,505,730 円	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">決 算 額</th> <th colspan="3">特 定 財 源</th> <th rowspan="2">一 般 財 源</th> </tr> <tr> <th>国・県支出金</th> <th>市 債</th> <th>そ の 他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>62,505,730</td> <td></td> <td></td> <td>611,176</td> <td>61,894,554</td> </tr> </tbody> </table>			決 算 額	特 定 財 源			一 般 財 源	国・県支出金	市 債	そ の 他	62,505,730			611,176	61,894,554	
決 算 額	特 定 財 源				一 般 財 源												
	国・県支出金	市 債	そ の 他														
62,505,730			611,176	61,894,554													
	<p>○観光振興事業 4,897,153 円</p> <p>観光情報発信の広域的展開に対応するため、各種協議会等に参画し、観光振興事業の成果を内外にアピールすることで、観光交流人口の増加を図る。</p> <p>また、市内の観光関連施設の維持管理に努め、快適性の向上を図る。</p>																
	<p>○総合観光案内事業 3,532,260 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合観光案内所管理委託 2,954,656 円 H18 利用者 71,110人 案内件数 19,998件 H19 利用者 74,653人 案内件数 18,716件 																
	<p>○三嶋暦師の館事業 2,539,171 円</p> <p>三嶋暦等を展示している三嶋暦師の館を、郷土の歴史・文化を物語る観光資源と位置づけ、街中がせせらぎ事業に伴う回遊ルート上における三島市のPRの場として活用する。</p> <p>来館者数 4,241人</p> <p>三嶋暦師の館維持管理業務委託 1,834,560 円</p>																
	<p>○観光推進ネットワーク事業 98,297 円</p> <p>平成15年度に策定された三島市観光推進ビジョン「三島ルネッサンス」を指針とし、観光を推進する各種団体のネットワークが、その方向性に沿った各種事業に対し支援を行う。</p>																
	<p>○市単独運営費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三島市観光協会補助金 15,650,000 円 三島市及びその周辺における観光事業の推進及び観光資源開発の促進を図り、市内・近隣市町の関係団体との協力のもとに地方文化産業の発展向上に寄与する当該団体にその運営費の一部を補助した。 																
	<p>○市単独事業費補助金 34,240,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三島夏まつり補助金 25,000,000 円 毎年、多くの人出で賑わう当市最大のイベント。農兵節、みしまサンバパレード、大文字焼き等を実施する三島夏まつり事業に対し補助した。 開催日 平成19年8月15日(水)、16日(木)、17日(金) 来場者 約52万人 																

費目	主 な 事 業 内 容																																																																																								
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山中城まつり補助金 4,000,000 円 山中城跡公園のPRと坂地区の活性化とにぎわいの創出を図るため国指定史跡「山中城跡」をメイン会場に開催した「第26回三島山中城まつり」に対し補助した。 開催日 平成19年5月20日(日) 来場者 約19,500人 ・ 竹倉赤湯プロジェクト推進事業補助金 100,000 円 竹倉温泉及びその周辺地域のPRを図るために、竹倉温泉の特徴である赤湯をキーワードに、竹倉温泉組合が取り組む事業に対し補助した。 ・ 三嶋暦の会事業費補助金 480,000 円 三嶋暦師の館を中心に、三嶋暦等のPR及びにぎわいの創出を目的とした各種イベント等を実施する三嶋暦の会の事業に対し補助した。 ・ 観光特産品化推進事業補助金 200,000 円 「寒ざらし団子」(山中商工組合)、「三島の土産物開発」(ご当地Goods研究所)の2事業に対し補助した。 ・ 三島ルネッサンス推進事業補助金 1,600,000 円 平成15年度に策定した三島市観光推進ビジョン「三島ルネッサンス」に基づき、三島市観光協会が中心となり観光を推進するネットワークが協働により展開する当該事業に対し補助した。 																																																																																								
06目 消費対策費	(単位 円)																																																																																								
7,837,974 円	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">決算額</th> <th colspan="3">特 定 財 源</th> <th rowspan="2">一 般 財 源</th> </tr> <tr> <th>国・県支出金</th> <th>市 債</th> <th>そ の 他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,837,974</td> <td>313,000</td> <td></td> <td></td> <td>7,524,974</td> </tr> </tbody> </table>	決算額	特 定 財 源			一 般 財 源	国・県支出金	市 債	そ の 他	7,837,974	313,000			7,524,974																																																																											
決算額	特 定 財 源			一 般 財 源																																																																																					
	国・県支出金	市 債	そ の 他																																																																																						
7,837,974	313,000			7,524,974																																																																																					
	<p>○消費生活相談事業 4,377,406 円</p> <p>消費生活相談窓口寄せられた相談件数は585件で、平成18年度に比べ216件減少した。相談内容の種類では、苦情が576件(98%)で相談の大半を占め、性別では男女比約6:4となっている。また、年齢別では40代が一番多い。</p> <p>消費生活相談受付件数 (単位 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>合計</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>苦 情</td> <td>576</td> <td>38</td> <td>33</td> <td>48</td> <td>54</td> <td>67</td> <td>58</td> <td>67</td> <td>55</td> <td>45</td> <td>29</td> <td>51</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>問合せ</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>585</td> <td>38</td> <td>33</td> <td>48</td> <td>55</td> <td>68</td> <td>59</td> <td>67</td> <td>57</td> <td>45</td> <td>31</td> <td>53</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>県民生活センター分</td> <td>244</td> <td>17</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>29</td> <td>19</td> <td>22</td> <td>21</td> <td>24</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>16</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> <p>性別相談件数(単位 件)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>234</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>346</td> </tr> <tr> <td>企業・団体</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>不明</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>内容別(主なもの)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>販売方法別 (単位 件)</th> <th>被害商品別 (単位 件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通信販売 285</td> <td>架空請求・不当請求 134</td> </tr> <tr> <td>訪問販売 60</td> <td>IT関連 85</td> </tr> <tr> <td>店舗販売 136</td> <td>住宅関連(点検商法) 48</td> </tr> <tr> <td>電話勧誘販売 52</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	月	合計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	苦 情	576	38	33	48	54	67	58	67	55	45	29	51	31	問合せ	9	0	0	0	1	1	1	0	2	0	2	2	0	合 計	585	38	33	48	55	68	59	67	57	45	31	53	31	県民生活センター分	244	17	18	20	29	19	22	21	24	19	20	16	19	男	234	女	346	企業・団体	5	不明	0	販売方法別 (単位 件)	被害商品別 (単位 件)	通信販売 285	架空請求・不当請求 134	訪問販売 60	IT関連 85	店舗販売 136	住宅関連(点検商法) 48	電話勧誘販売 52	
月	合計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																																												
苦 情	576	38	33	48	54	67	58	67	55	45	29	51	31																																																																												
問合せ	9	0	0	0	1	1	1	0	2	0	2	2	0																																																																												
合 計	585	38	33	48	55	68	59	67	57	45	31	53	31																																																																												
県民生活センター分	244	17	18	20	29	19	22	21	24	19	20	16	19																																																																												
男	234																																																																																								
女	346																																																																																								
企業・団体	5																																																																																								
不明	0																																																																																								
販売方法別 (単位 件)	被害商品別 (単位 件)																																																																																								
通信販売 285	架空請求・不当請求 134																																																																																								
訪問販売 60	IT関連 85																																																																																								
店舗販売 136	住宅関連(点検商法) 48																																																																																								
電話勧誘販売 52																																																																																									

費目	主 な 事 業 内 容																																	
	<p>○賢い消費者育成事業 865,962 円</p> <p>賢い消費者を育成するため、「消費生活講座」を6回、地域・企業・老人会等を対象にした悪質商法未然防止に係る「出前講座」を11回開催した。また、「みしま生活展」を通じ様々な消費者に関する情報を収集・提供し、消費者活動の推進母体となる消費者団体・グループの支援をするとともに、賢い消費者の育成に努めた。</p> <p>さらに、環境にやさしい率先行動のできる消費者を育成するため、不用品活用バンクの利用を推進した。</p> <p>・消費生活講座 (単位 人)</p> <table border="1" data-bbox="512 568 1362 943"> <thead> <tr> <th>演 題</th> <th>講 師</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「テレビでは話せない食の裏側」</td> <td>食品表示アドバイザー</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>「正しい遺言の残し方」</td> <td>沼津公証人合同役場・公証人</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>「暮らしの中の危険と損害保険」</td> <td>日本損害保険協会事務局長</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>「トクホってなに？」</td> <td>日本健康・栄養食品協会特定保健用食品部長</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>「海賊版とコピー商品について考える」</td> <td>不正商品対策協議会事務局長</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>「どうなる年金？これからの生活設計」</td> <td>1級ファイナンシャルプランニング技能士</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center">合 計</td> <td style="text-align:center">6回</td> <td style="text-align:center">309</td> </tr> </tbody> </table> <p>・消費出前講座 計11回 261人参加 高年齢向け8回(232人) 一般向け2回(13人) 障害者向け1回(16人)</p> <p>・「みしま生活展」委託事業 540,000円 三島市消費者連絡協議会に運営を委託し、第32回「みしま生活展」を開催した。</p> <p>平成19年度は、「みんなで築こう 身近な安全・安心～地産地消で食育推進～」をテーマとし、消費者11団体が身近な消費者問題について1年間学習した成果を発表するとともに、環境問題を中心に12事業所、行政及び関係15団体が出展、3,000人の参観者があった。</p> <p>・不用品活用バンク事業 昭和54年度から、環境にやさしい消費者の実践行動の一環として、家庭用の不用品の提供者と活用者を登録し、市民ホール庁内掲示板や市ホームページで紹介し、利用の促進に努めた。</p> <p style="text-align:center">平成19年度の利用状況</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">登録件数</td> <td style="padding-right: 20px;">譲ります</td> <td>295件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>譲ってください</td> <td>300件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>成立</td> <td>300件</td> </tr> </table> <p>○市単独事業費補助金 586,000 円</p> <p>・三島市消費者連絡協議会補助金 486,000円 三島市消費者連絡協議会に活動事業費を助成した。 活動内容は、純正食品普及、視察・研修、消費者被害未然防止街頭キャンペーン、消費者問題シンポジウムへの参加など。</p> <p>・三島市買物袋持参運動推進協議会補助金 100,000円 三島市買物袋持参運動推進協議会に活動事業費を助成した。 活動内容は、各種イベントへの参加による啓発、各加盟団体における買物袋持参運動の推進など。</p>	演 題	講 師	受講者数	「テレビでは話せない食の裏側」	食品表示アドバイザー	67	「正しい遺言の残し方」	沼津公証人合同役場・公証人	70	「暮らしの中の危険と損害保険」	日本損害保険協会事務局長	33	「トクホってなに？」	日本健康・栄養食品協会特定保健用食品部長	46	「海賊版とコピー商品について考える」	不正商品対策協議会事務局長	44	「どうなる年金？これからの生活設計」	1級ファイナンシャルプランニング技能士	49	合 計	6回	309	登録件数	譲ります	295件		譲ってください	300件		成立	300件
演 題	講 師	受講者数																																
「テレビでは話せない食の裏側」	食品表示アドバイザー	67																																
「正しい遺言の残し方」	沼津公証人合同役場・公証人	70																																
「暮らしの中の危険と損害保険」	日本損害保険協会事務局長	33																																
「トクホってなに？」	日本健康・栄養食品協会特定保健用食品部長	46																																
「海賊版とコピー商品について考える」	不正商品対策協議会事務局長	44																																
「どうなる年金？これからの生活設計」	1級ファイナンシャルプランニング技能士	49																																
合 計	6回	309																																
登録件数	譲ります	295件																																
	譲ってください	300件																																
	成立	300件																																

費目	主 な 事 業 内 容				
07目 環境対策費	(単位 円)				
148,405,366 円	決 算 額	特 定 財 源			一 般 財 源
		国・県支出金	市 債	そ の 他	
	148,405,366	675,000		35,349,939	112,380,427
○公害苦情受付及び解決件数 (単位 件)					
種類 \ 件数		苦情件数	解決件数	繰越件数	種類別発生件数割合
大 気 汚 染		16	16	0	30%
水 質 汚 濁		8	8	0	15%
騒 音		6	6	0	11%
振 動		0	0	0	0%
悪 臭		14 (1)	14	0	27%
そ の 他		9 (1)	9	0	17%
合 計		53 (2)	53	0	100%
() 内は前年度継続分で内書き					
○大気汚染					
<ul style="list-style-type: none"> ・市内4測定局及び自動車排ガス測定局による常時監視（風向・風速・二酸化硫黄・窒素酸化物・一酸化炭素・浮遊粒子状物質・オキシダント等）を行った。 ・光化学スモッグ（オキシダント）による緊急時発生については「緊急時対策要領」により夏季監視体制の強化を図った。 					
○水質汚濁					
<ul style="list-style-type: none"> ・環境基準の設定されている大場川をはじめ市内を流れる11河川について水質調査を行った。また、大場川新川橋において24時間監視調査を2回実施した。 ・BOD値でみると、大場川では水質は平年に比べるとほぼ横ばいであり、環境基準点である出逢橋・塚本橋では環境基準を満たしていた。また、その他の河川でもその水質は平年と同様でほぼ横ばいであった。 ・法、条例に基づく県東部健康福祉センターによる立入調査に三島市も同行して排水処理施設の維持管理等のチェックを実施した。（平成19年度は4回、延べ19工場・事業場で実施） ・下水処理施設への流入水・放流水等の平常試験・精密試験・中試験・通日試験等の水質検査及び汚泥試験を実施し、下水処理場の水質管理部門へ水質試験報告を行った。 ・トリクロロエチレン等の有機塩素系化合物による地下水汚染については、当市では平成18年度までの調査で基準を超える汚染地域はないことが確認されているが、市内に6箇所の使用事業場もあることから、引き続き井戸・湧水等の定点調査と使用事業場の立入調査等を実施。結果は、水道水の水質基準を超える箇所はなく、違反もなかった。今後も継続して調査していく予定である。 ・外因性内分泌攪乱化学物質として疑われている物質による環境汚染の監視については、平成10年度に環境庁が緊急全国一斉調査を実施した結果、河川水等から61物質中27物質が検出された。この結果を受けて、本市でも大場川塚本橋・松毛川三日月湖の2箇所で年2回の調査を行った。その結果、両河川とも3物質中1物質が低濃度であったが検出された。しかし、環境庁の全国一斉調査の調査結果の範囲内であり、特に 					

費 目	主 な 事 業 内 容
	<p>高い濃度で検出された物質はなかった。</p> <p>○交通騒音 騒音に関する市内主要道路沿線の実態を把握するため、市内 8箇所 交通騒音調査を実施した。その結果、環境基準はほとんど満たしてい ないが、要請限度は概ね満たしていた。</p> <p>○環境騒音 騒音に関する地域環境の実態を把握するため、市内37箇所環境騒音 調査を実施した。その結果、すべての測点で環境基準を満たしており、 全体として良好な状態であったが、自動車の音源寄与が特に高い状況で あった。</p> <p>○環境保全意識の啓蒙・普及 ・環境保全団体との連携のもと、大場川・桜川・せせらぎルート の清掃や講演会の開催等各種行事を実施し、環境保全意識の向上を 図った。 ・事業場の現場サイドから環境問題を考え、その保全を図るため 市内を中心に 88事業場・団体により「三島地区環境保全推進協 議会」を構成し、市の主催する環境保全事業に協力するとともに、 独自に講演会・技術研修会、環境保全団体の表彰等の各種事業を 実施した。 この協議会に対し事業費の一部として73,000円を補助した。 ・環境月間において関係各課との協力のもと、環境保全啓蒙パト ロールや環境美化活動、環境講演会などを実施し環境意識の向上 に努めた。</p> <p>○三島市快適な空間を保全するための歩行喫煙の防止等に関する 条例（通称：歩行喫煙・ポイ捨て防止条例）が平成18年4月1日 から施行されたことに伴い、以下の啓蒙・啓発を行った。 ・12人のボランティア監視員による監視・周知活動 ・6月の環境月間にあわせ、ゴミゼロクリーンキャンペーンを 実施 参加者約500名 ・8月の三島夏祭りポイ捨て防止キャンペーンで、啓発用風船 1,000個配布 大通り商店街のゴミ拾いによる啓発活動を夏祭り期間中実施 ・毎月第一土曜日 三島駅南口広場において、クリーンキャン ペーン実施 ・市内5箇所歩行喫煙者の調査及び三島駅のタバコポイ捨て 本数の調査 施行前と19年度の歩行喫煙者比較では約80%減少した。</p> <p>○大気中のアスベスト飛散状況調査 アスベストによる健康被害が問題化されているため、市内4箇所 で大気中のアスベストの飛散状況を調査したが、アスベストの 飛散はなかった。 また、トレモライト等新たなアスベスト類の、市施設での補 足定性測定を実施、20施設全てで検出されなかった。</p> <p>○環境基本計画推進管理事業 803,325 円 ・三島市環境基本計画の進捗管理 三島市環境審議会の開催…平成20年1月23日 三島市地域環境サポート活動全体会議…平成20年3月26日 ・三島市環境基本条例第9条（年次報告書）の規定により、18 年度の様々な環境データや環境基本計画の実施状況等を明ら かにした「環境報告書～三島の環境～（平成19年版）」を420 部発行し、関係機関等に配布した。</p> <p>○地域環境づくり推進事業 453,936 円 ・エコリーダー活動（市民環境大学修了生等） 市内4地区で、それぞれ地域でできる環境活動の実践</p>

費 目	主 な 事 業 内 容
	<p>〔主な活動〕</p> <p>旧市内地区…ごみ拾い活動（毎月第1土曜日） 北上地区…花壇づくり（沢地川沿い） 錦田地区…山田川自然観察ウォーキング（環境マップづくり） 中郷地区…ごみ拾いウォーク</p> <p>・地域環境情報誌「エコライフみしま」の発行 編集スタッフ（市民ボランティア）11人 「エコライフみしま」編集スタッフ会議（4月～3月 17回開催） 第9号発行 特集テーマ「こまめに省エネ！」（平成19年5月1日号） 第10号発行 特集テーマ「言うべえ、聞くべえ、やるべえ」 - エコリーダーによる地域の環境活動 - （平成19年10月15日号）</p> <p>○小学生環境リーダー育成事業 198,310 円</p> <p>・環境探偵団 市内14小学校の4年生から6年生（児童43人）を対象に、夏休みを中心に、湧水河川等自然環境の調査や風力発電施設、ペットボトルリサイクル施設の見学等体験学習を実施した。</p> <p>・小学生環境フェスティバルの開催 環境ボランティア活動の大切さを養う学習として、親子を対象に貴重な自然や生物の保護などをテーマとした講演会と環境探偵団活動の発表会を行った。 開催日 平成19年10月21日（日） 参加者 約130人 発表会 平成19年度環境探偵団活動報告（43名） 講演会 「水族館の仕事と淡水のアザラシ」 講師：今城 悠二 氏（箱根園水族館 飼育係）</p> <p>○中学生環境リーダー育成事業 2,005,389 円</p> <p>市内7中学校から2人ずつ計14人を対象に、夏休みの3泊4日間、環境先進都市熊本県水俣市の地元中学生との交流や鹿児島県屋久島の縄文杉登山などの体験学習を実施し、参加中学生全員が「環境行動宣言」を行った。 事前研修 平成19年7月31日 本研修 平成19年8月7日～10日 事後研修 平成19年8月23日 環境行動宣言 平成19年8月27日</p> <p>○市民環境リーダー育成事業 698,316 円</p> <p>・市民環境大学の開講 三島市と日本大学国際関係学部の主催により、日本大学を会場に平成19年6月から翌年1月まで、原則毎月夜間1回（計8回）の講義を実施。講師には、地元日本大学及び遺伝学研究所をはじめ、地球温暖化を共通テーマとして、大学教授、企業・団体、行政等、幅広い分野から講師を招聘した。 入学 70人 修了 31人 「エコリーダー」認定 25人 （入学者総数470人、修了者総数250人、エコリーダー総数211人）</p> <p>○環境ボランティア推進事業 352,540 円</p> <p>森林の有用な機能、森林事業の活性化などを図るため、森林ボランティア（三島フォレストクラブ）等の協力を得て、市民や森林保有者、都市住民にも参加を呼びかけ、「箱根西坂いきいき森づくり」を2泊3日で開催した。 開催期間 平成19年10月26日～28日の2泊3日（日帰り参加可） 参加者 33人（うち東京都板橋区参加者 8人） 26日 前泊者のみの対応</p>

費 目	主 な 事 業 内 容
	<p>27日 森に関する講義・チェーンソー体験（雨天メニュー） 会場 箱根の里研修室・Bサイト、台風9号被災地現場 参加者 27人 箱根西麓の森林の現況と課題、台風9号の森林被害 チェーンソーの使い方・体験</p> <p>28日 竹炭づくり・森林散策 会場 箱根の里多目的広場、施行平付近の森 参加者 26人 竹炭づくり、森林散策（箱根西麓の植生等）</p> <p>○環境学習フロンティア事業 1,670,655 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児環境教育推進プロジェクト 保育園保育士及び幼稚園教諭等のメンバーにより、環境教育教材の作成等を行った。 環境教育マニュアルの更新 先生向け環境マップの作成 ・環境読本の改訂、配布 小学校の教育課程に準拠した「環境読本」の記載データを最新版に更新し、全小学校新4年生（約1,100人）に配布した。 ・メダカぞく・ふれあいプランの実施 配布済みの保育園、幼稚園及び課内において、平成18年度に引き続きメダカの飼育を継続した。 ・環境学習グッズの作成、配布 〔小学4年生用〕 市内14小学校区の中から、代表的な三島の自然箇所を紹介したペットボトル再生フィルムの下敷きを作成、新4年生に配布した。 〔中学1年生用〕 中学生の環境行動やエコライフを喚起するため、ペットボトル再生フィルムのクリアフォルダーを作成、新1年生に配布した。 <p>○ISO14001推進事業 1,745,256 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成12年7月26日に取得した環境管理の国際標準規格ISO14001の認証を継続するため、登録審査機関による認証取得後1年毎に実施される定期サーベイランスを受審し、「向上」の評価、登録維持の確認を得た。 受審期間 平成19年7月4日～6日 外部審査機関 (株)日本環境認証機構 審査員 2人 ・庁内及び学校の機密文書の溶解処理（再資源化のための古紙回収）を実施。 総回収量（総資源化量） 72,880kg （回収回数：37回） <p>○三島市環境ISO認定制度推進事業 380,981 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭版ISO（エコパートナー） EMS（環境マネジメントシステム）の仕組みを活用し、日常生活の中で環境活動を実践するエコ市民の普及を目指すもの 平成19年度 200世帯をエコパートナーに認定（累計535世帯） ・学校版ISO 学校における児童・生徒の自主的な環境活動を応援する制度で、市と教育委員会が認定する。 平成19年度認定校 東小学校、西小学校、沢地小学校、山田小学校 （総認定校15校：内訳…中学校7校、小学校8校）

費 目	主 な 事 業 内 容
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者版 I S O [エコアクション21自治体イニシャティブ・プログラム] 環境省が定めたガイドラインに基づく中小企業向けの環境経営システム「エコアクション21」の自治体イニシャティブ・プログラムの制度を活用し、無料セミナーの開催等、事業者のための認証取得支援を行った。 全体説明会 平成19年6月5日 会 場 三島商工会議所1階TMOホール 参加事業者 32社（うちセミナー申し込み参加事業者数 23社） セミナーの開催 平成19年7月12日～平成20年1月16日（5回） [感謝状の贈呈] 市内事業所による I S O 14001の認証取得を促進するため、市内環境 I S O 14001取得事業所のうち4事業所を対象に日頃の環境貢献活動に対して、感謝状を贈呈した。 開催日 平成19年6月8日 会 場 市民文化会館 小ホール 環境美化推進大会内において感謝状贈呈 ○資源・エネルギー循環推進事業 15,900,409 円 <ul style="list-style-type: none"> ・子供会、自治会、P T A等が行う資源ごみ集団回収事業に対して、回収量に応じて報奨金を交付した。 交付実績 162団体 2,815.75t 14,079,370円 ・エコプロジェクト事業 庁内に設置した地域循環型社会推進プロジェクトチーム会議を通じ、地域資源のリサイクルほか「循環型のまちづくり」を具体的に進める施策の調査・研究を行った。 ・ストップ・ザ・アイドリング推進事業 自動車排気ガスの抑制を図るため、平成18年度に引き続き、アイドリングストップ装置を公用車5台に装着した。 ・市民向け省エネナビ貸出し事業 家庭の省エネルギー活動の推進を図るため、平成18年度に購入した省エネナビ8台と、新たに購入したワットアワーメーター8台をセットで市民への貸出しを行った。 延べ貸出し件数 31件 ・地域省エネルギー連携モデル事業 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（N E D O）の補助制度を利用する中、東京電力（株）と連携し、エコキュート及び省エネナビを設置するモデル家庭の募集及び説明会の開催、補助金受給者の省エネ実践活動への参加ほか、広報等事業を行った。 広報事業委託料ほか 892,939円 （独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（N E D O）の100%補助） ○市単独事業費補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップ装置設置費補助金 150,000 円 自動車排気ガスの抑制を図るため、アイドリングストップ装置又は同装置装着車の購入・設置に係る経費の一部を補助した。 補助実績 9件（事業者9件） ・省エネ機器設置費補助金 34,037,000 円 エコキュート及び省エネナビを設置する省エネモデル家庭に設置費の2分の1（上限343,000円）補助を行った。 補助実績 100件 （独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（N E D O）の100%補助）